

# 京都岡本記念病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

承認番号	2019-12
研究課題名	くも膜下出血急性期のStress indexの検討
研究責任者	【所属】脳神経外科 【氏名】伊藤清佳
研究主催機関	【主催機関】 京都岡本記念病院 【代表者】伊藤清佳
研究期間	【開始】2019年 4月 8日 【終了】2021年 3月 31日
研究の背景・目的・意義・方法など	くも膜下出血の急性期には、種々の血液検査の異常や全身の合併症が生じます。全身合併症の原因の一つはカテコラミンサージとされています。カテコラミンサージは、脳が興奮して血液中のカテコラミンを異常に増加させる状態をいいます。カテコラミンが増えると、血圧が上がり心拍が増え、くも膜下出血には好ましくない状態となり、ひどくなると心不全や肺水腫を起こします。近年ストレス・インデックス（SI：血糖値/血清カリウム値）が、くも膜下出血の重症度と関連し、血液中カテコラミン推移と相関することが注目されています。 本研究では、急性期に治療した破裂脳動脈瘤によるくも膜下出血患者において、ストレス・インデックスが病後の予測を可能にするのかを検討します。
対象者	2014年5月1日～2019年2月28日 破裂動脈瘤によるくも膜下出血と診断され、発症から72時間以内に治療した患者さん
研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、搬入時WFNS grade、破裂脳動脈瘤の部位、退院時mRS、搬入時血中カリウム値、血糖値、SI、糖尿病の既往の有無を診療録から収集する。
備考	

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、京都岡本記念病院 脳神経外科 伊藤 清佳 までお問い合わせ下さい。

Tel 0774-48-5500

Fax 0774-44-7159